



**うすずみざくら 薄墨桜** (県天然記念物)  
 樹回り4.5m、幹の高さ9m、樹齢500~600年の三里山山頂近くにある老桜。  
 26代継体天皇が皇子の頃この地に住まれていて、即位のために都に上る際に形見として残された桜と伝えられている。



**おうじがいけ 皇子ヶ池**  
 継体天皇の皇子である27代安閑天皇、28代宣化天皇の産湯に使用された池と伝えられている旧跡。

**花筐公園ゆかりの地碑**  
 宝生流第17世宝生九郎の作。謡曲「花筐ゆかりの地」とかかれています。

**孫桜**  
 標高約130mにある、幹回り2.9mの老桜。  
 1568年、朝倉景盛が行司ヶ岳に行司ヶ岳城(粟田部城)を築いた記念に薄墨桜の新梢を移したと伝えられる。

**ことひきやま 琴弾山**  
 その昔、朝夕丘の上の館でひとりの姫が琴を奏でていた。  
 姫は皇子と出会い、恋に落ちるが恋はかなわず、尼になったという物語が伝えられている地。

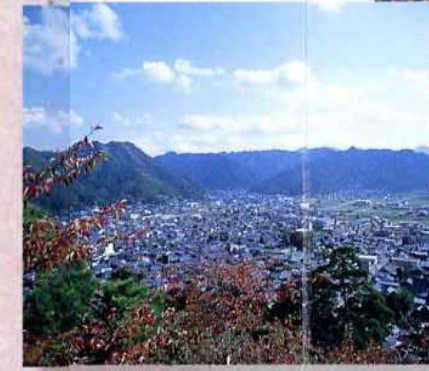


**さんげつろうてい 山月楼亭**  
 野口雨情が作詞をし、藤井清水が作曲した「今立小唄(粟田部小唄)」は、この山月楼で昭和2年に誕生したといわれる。平成10年3月移築復元された。

**わかふと 岡太神社**  
 粟田部地区にある継体天皇ゆかりの神社。  
 毎年2月11日に行なわれる蓬萊祀は、継体天皇が樟葉宮で即位された事を祝った祭り。



**山頂風景**  
 三里山の山頂まで、遊歩道があり楽しく散策できる。  
 山頂では今立町から鯖江市、武生市まで見渡す事ができる。

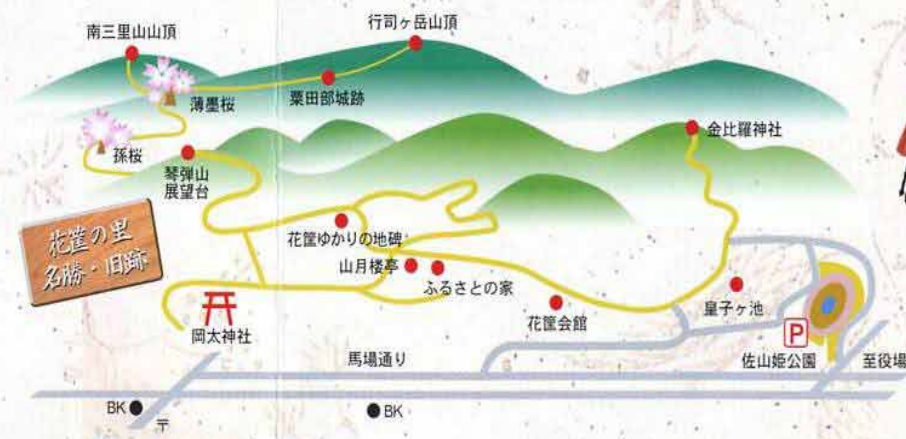


**紅葉**  
 ケヤキ、ブナ林の広がる三里山周辺は、秋の紅葉のメッカ。特にみじが鮮やかに彩る山道は一見の価値があります。

**かきょう 花筐会館**  
 謡曲「花筐」の舞台として名高い花筐公園は、桜をはじめ、つつじ、紫陽花、紅葉と四季を通じて自然が楽しめる。  
 花筐会館は、公園の中心にあり花筐の歴史を学ぶ事ができる。



**佐山姫公園**  
 継体天皇ゆかりの地・謡曲「花筐」で知られる照日の前(佐山姫)と継体天皇が出会った場所で、御所跡と伝えられている。



神事とまつり		
左義長祭	1月中旬	
蓬萊祀引廻し	2月11日	PM1:00
菜祀祭	2月13日	PM3:00
はながたみ桜まつり	4月上旬	
堂の餅	10月12日	
花筐もみじまつり	11月上旬	

**おらいし 蓬萊祀祭**  
 旧正月12日、継体天皇が河内国樟葉宮で即位された吉日で、古来から12・13の両日を祭日とし13日には菜祀と称して天皇の行幸に擬して神幸の儀を厳粛に行なう式典。



**花筐薪能**  
 継体天皇の恋物語、能の謡曲「花筐」より命名された花筐公園では、8月に継体天皇を偲んで薪能が行なわれている。



春の桜に、秋のもみじ

今立に名勝あり、  
三里山と花筐公園は  
季節を彩る夢絵巻。

四季折々の風情を、楽しめる豊かな自然と、  
周囲が三里あることで名付けられた三里山、  
継体天皇の恋物語、能の謡曲「花筐」より命名され、  
継体天皇の妃、佐山姫の御所が  
あったとされる花筐公園。  
自然と歴史の織り成すドラマは、  
時を超える感動をあたえます。

INFORMATION



交通のご案内

JR武生駅から戸ノ口行き福鉄バス…「花筐公園下」下車  
北陸自動車道 武生LCから東に5km……車で約15分  
北陸自動車道 鯖江LCから東に7km……車で約20分

施設のご案内

花筐会館 ◆休館日 毎週月曜日(祝祭日は除く)  
ふるさとの家 ◆休館日 年末年始・第3日曜日・祝祭日

お問い合わせ先

越前市観光振興課

〒915-8530

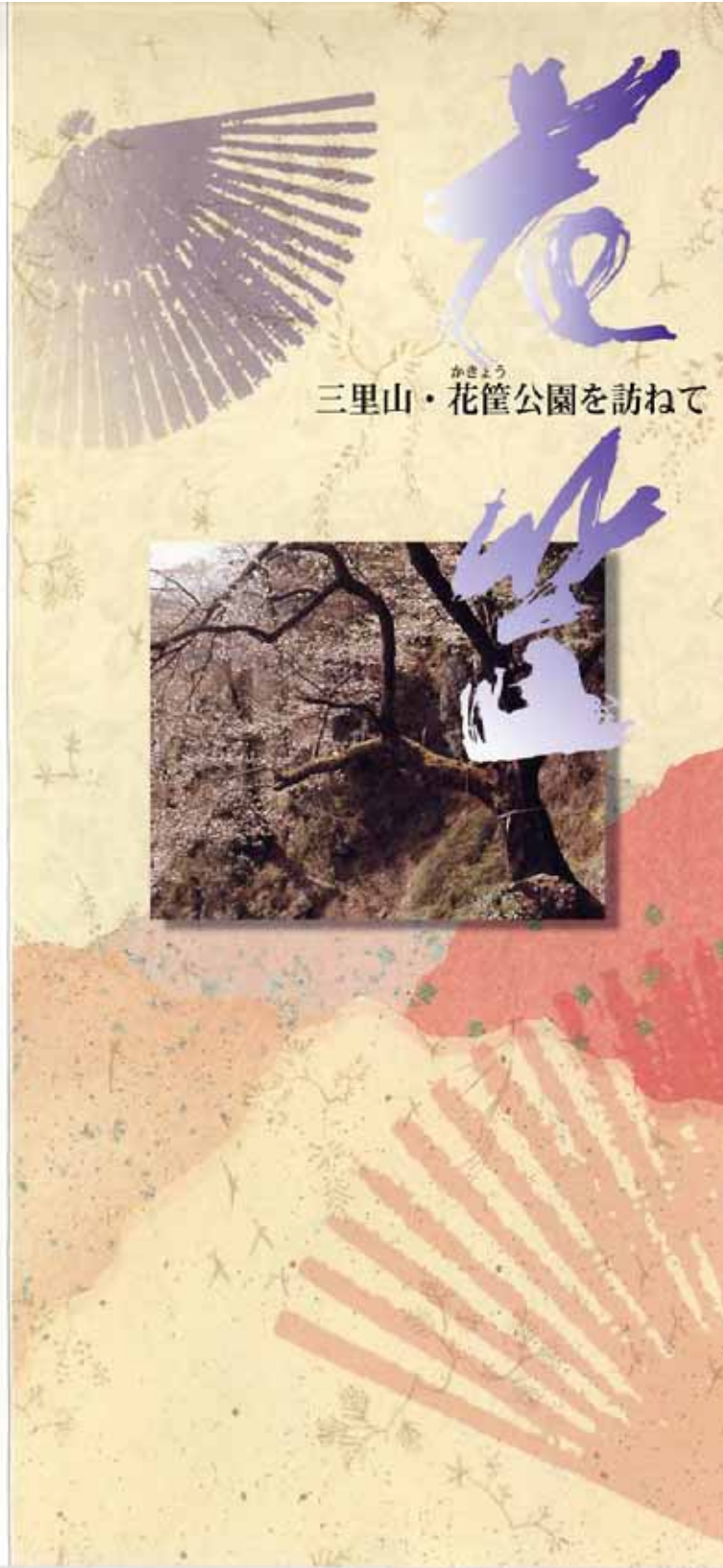
福井県越前市府中一丁目 13-7

Tel 0778-22-3007 FAX 0778-21-0032

e-mail kankou@city.echizen.lg.jp

越前市ホームページ

http://www.city.echizen.lg.jp



三里山・花筐公園を訪ねて



花筐の春夏秋冬。